

特集②

地域を見守り、寄り添い、つなぐ

あなたも民生委員・児童委員になって活躍してみませんか？



近年、地域のつながりが希薄化し、日常生活で困ったことがあっても相談する人がいない、どうすればいいかわからない、というような「社会的孤立」が問題になっています。

「民生委員・児童委員」は地域の福祉を担うボランティア

ティアとして相談や見守りなどの活動を行っています。今回の特集ではその取組を紹介します。

☎ 社会福祉課
☎ 23-9590 FAX 26-1768 【HP 番号：3163】

キーワードは「見守り、つなぐ」 民生委員・児童委員とは

民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。一人暮らしの高齢者、子ども、子育て世帯など、地域での困りごとの相談や見守りを行い、必要な場合には専門機関や必要な福祉サービスを紹介するなど、地域のつなぎ役として活動しています。



子育て家庭と地域のつなぎ役 主任児童委員

「主任児童委員」は子どもや子育てに関する支援を専門的に担当しています。彦根市では子育ての支援や児童の健全育成活動などに取り組んでおり、「1歳おめでとう訪問」やふれあいイベント「よっておいでよ げんきっ子」など、いろいろな活動で子育て家庭を応援しています。

他にもこんな活動をしています

研修会や定例会への出席

定例会▶委員同士が情報交換や活動方針の共有しています。

研修会▶委員活動に必要な知識を身につけられます。

地域活動への参加や協力

▶地域の人たちとのつながりを持つために、地域福祉や防災活動などの地域での活動に参加・協力する委員もいます。

単位民児協の活動

▶民生委員・児童委員の組織である単位民児協。地域福祉を推進するための活動やイベントなどを企画しています。



地域を支える大切な役割 — 12月、民生委員・児童委員一斉改選

現在問題となっているのが委員の「高齢化」や「なり手不足」。市でも、委員の平均年齢は約67歳であり、委員の充足率については令和元年の96.6%から令和4年度には94.1%に減少しました。

民生委員・児童委員の任期は3年(再選可能)。今

年12月1日に任期満了に伴う一斉改選が全国で行われます。これからも支援の網を絶やさないために、経験豊富な人だけでなく若い世代の活躍にも期待が寄せられます。

若手民生委員・児童委員にインタビュー！

30代で、実際に働きながら民生委員を務める佐和山学区の川崎さんにお話を聞きました。



川崎 実矢子 さん

民生委員になったきっかけは？

同じ地区の民生委員さんに声をかけられたことがきっかけでした。いつも娘が通学するときにあいさつ運動をしてくれていて普段からも交流があった方で、「できる範囲で大丈夫だから」と言ってくださり、仕事もあるし不安な気持ちもありましたが引き受けました。

働きながらの委員としての活動、いかがですか？

平日は朝8:30から、夕方17:30まで働いていますし、土日は家のこともあるので、定例会などはなかなか参加できないことも、正直あります。そのため、「できることはできるだけ」と決めて、朝や夕方に飼っている犬の散歩の途中で訪問活動するようにしています。直接の訪問が難しいときは、家の明かりがついているか確認し

たり、お出かけしているのを見たりして、普段から積極的に気にかけてるようにしています。

以前には、訪問先の方が娘の入学を自分事のように喜んでくれたこともありました。ほかの委員さんも優しく気にかけてくださることもあり、助けてもらいながら「できることをできるだけする」、ことを心がけて活動しています。

これからの一斉改選、どんな人になってもらいたいですか？

同世代の人にはぜひ積極的に委員になってもらいたいと思います。委員同士支えあいながら活動していますし、さまざまな世代が集まることで活動がより良くなっていけばいいなと思っています。

委員の活動は人と話してコミュニケーションをとることが大事になってきますので、人と話したり、関わったりすることが好きな人に、ぜひなってもらいたいですね。

民生委員活動に密着！



民生委員の活動として、地域の高齢者の見守り・訪問があります。委員として12年活動されている城西学区の西野さんの活動を紹介します。

この日は、彦根市立西中学校の生徒が民生委員と一緒に城西学区・城北学区の高齢者訪問し、生徒らがつくったクリスマス・お正月カードとマリーゴールドの種をお渡しするというものです。

この活動は平成26年から行われていて、地域の皆さんも楽しみにしているようでした。中学生が訪問すると、笑顔で「来てく

れてありがとう。頑張ってるね。」と話されたり、「去年もらったアサガオの種、夏にとってもきれいに咲いたよ」といった声も聞こえてきました。

「毎年の訪問を楽しみにされている方も多くおられます。子どもも高齢者もお互い関わるのが減っている時代ですし、この取り組みはこれからも続けてほしいです。」と西野さんは話します。

ありがとう、そう言われると「ほっと」します。



ひでたろう
西野 秀太郎 さん

「西野さんいつもありがとう。これを見て。手すりつけてもらったよ。」ある人が玄関にある手すりを見せながら西野さんに話しかけていました。以前に足が悪いという話を耳にしていた西野さんは、介護の必要性を感じ、地域包括支援センターにつなぎ、手すりを設置してもらえたそうです。

西野さんは続けて「日々、地域の方々がどのような状況なのかはできるだけ把握しておこうとしています。相談されたらなるべく早くに対応するよう心がけていますし、民生委員だから、と信頼し心を開いてさまざまな相談をしてもらえます。相談を受け、実際に生活環境が改善されたと聞かされると、「ほっと」

します。やっぱり、こういう時に民生委員をしていて良かった、と感じますね。」と話しました。

「私も委員になるまで、どのようなことをしているのかわからないことがほとんどでした。民生委員・児童委員になるために特別な知識や資格は必要ありません。その中でも、積極的に人と話せる人、話すのが好きな人はぜひなってほしいです。また、信頼がある分責任も大きいです。これから民生委員になる人、なろうと考えている人には、積極性のある人になってほしいですね。」

主任児童委員活動に密着！



かづこ
濱口 嘉津子 さん

よしこ
青山 好子 さん

高宮学区で主任児童委員を務める青山さんと濱口さん。この日は高宮学区の民生委員と合同で開催している親子ひろば「わいわいひろば」の活動に

私の元気の源は、子どもたちの笑顔

もともと保育士をしていた濱口さんは「ここ（わいわいひろば）に来ていただくと、子どもたちは楽しそうに遊んでくれるし、親御さんたちもお互い話をしながら情報交換もできるし、それが息抜きになってくれていると私たちも嬉しいです。」と話します。「会うたびに大きく成長する子どもたちの姿を見ると、委員をしていてよかったなと感じます。」と続け、子どもたちの元気な姿が自分自身の元気の源だと嬉しそうに話してくれました。

子どもも親も、地域も、笑顔に

「最近では、近所のつながりがだんだんと少なくなっていますが、私たちの活動が地域の活性化につながってほしいと願っています。」そう話すのは、前任者の方から声をかけられたことがきっかけで委員となった青山さん。秋には小学生とその親を対象とした、サツマイモ掘り体験を企画したそうです。「子どもたちも一緒に来てくれた親御さんたちも楽しそうだったし、行事の次の日のあいさつ運動で、参加した子から「楽しかった！またしたい！」って言ってくれた時は、とても嬉しかったです。またしようと思えるし、こんな風に子どもたちが喜んでいる姿が、委員をしていてよかったと感じる瞬間です。」と話します。

は高宮学区の民生委員と密着しました。

参加者の声

おもちゃもたくさんあってたくさん遊ばせられるし、委員さんたちもいてくれるので安心して子どもを任せられて息抜きになっています。他のお母さんたちと色んな話ができる機会でもあるので、とても助かっています。

小さい子たちから小学生、親御さんたちみんなが楽しんでもらえる、そんな活動やイベントをこれからも企画・開催していきたいそうです。

民生委員・児童委員 Q & A

彦根市には何人の民生委員・児童委員がいますか？

約230人です。また、約4割の人が仕事をしながら活動していて、20代～40代の人もいます。

どのようなことが相談できますか？

介護や病気の悩み、妊娠や子育ての不安、失業や経済的な不安など、生活上の困りごとなどを相談してください。もちろん、個人情報やプライバシーに配慮して活動します。

民生委員・児童委員になるために資格や経歴が必要ですか？

特別な資格や経歴は必要ありません。彦根市では、その地域に住んでいる18歳以上の人から、自治会の推薦により候補者が選ばれています。新しく委員となったら、引継ぎや研修会などを通して、委員として必要な知識を習得できます。

活動は1人で行いますか？

担当地区はありますが、委員同士が定期的に集まり、日頃の活動について意見交換を行っています。また、市の職員や、彦根市社会福祉協議会の職員も日々の活動をサポートしています。

あなたも

民生委員・児童委員になって活躍してみませんか？